

2023年度の「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」
に基づく主な取組状況について

2024年7月8日



筑邦銀行は、「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」のもと、お客さまにご満足いただける質の高い金融サービスの提供に取り組んでおります。

当行の2024年3月末時点における本方針に基づく「『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』に基づく取組状況」および「比較可能な共通KPI」を公表いたします。

「顧客本位の業務運営にかかる原則」に基づく筑邦銀行の基本方針

1. お客さまの最善の利益の追求（原則2）

- (1) 投資信託の販売額および残高の推移
- (2) 投信販売における毎月分配型商品と毎月分配型商品以外の販売額比率
- (3) 積立投信契約者数・年間振替金額の推移

2. 利益相反の適切な管理（原則3）

3. 手数料等の明確化（原則4）

4. 重要な情報の分かりやすい提供（原則5）

5. お客さまにふさわしいサービスの提供（原則6）

- (1) 投資信託ラインナップ
- (2) 投資信託ラインナップにおける毎月分配型商品以外の比率
- (3) 生命保険ラインナップ
- (4) お客さま向けセミナー・運用報告会実施回数

6. 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等（原則7）

FP1級・FP2級の資格取得者数

7. 共通KPI

- (1) 投資信託の運用損益別顧客比率
- (2) 投信信託預り残高上位20銘柄の「コスト・リターン」「リスク・リターン」
- (3) 外貨建保険の運用損益別顧客比率
- (4) 外貨建保険預り残高上位20銘柄の「コスト・リターン」

1. お客さまの最善の利益の追求

<取組方針>

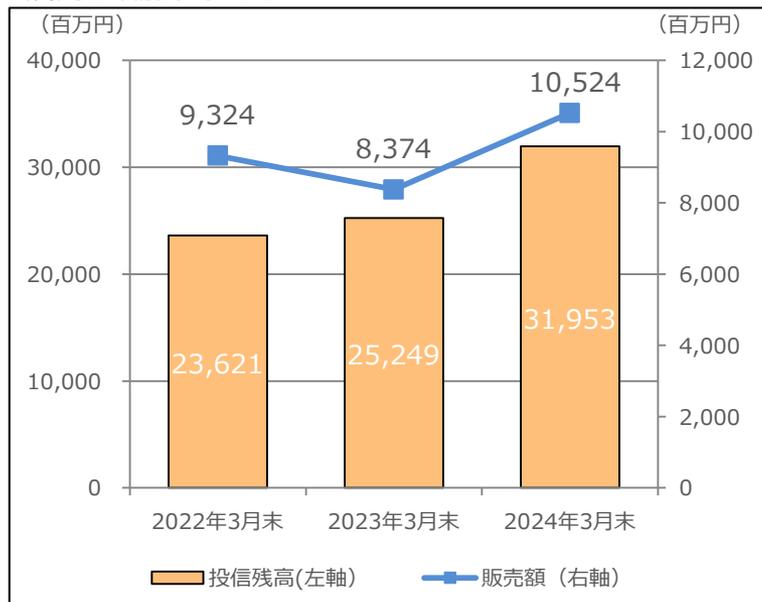
- ・ 筑邦銀行は、「質の高い金融サービスの提供」を実行していくために、創意と工夫を活かし、お客さまのニーズにお応えするために、質の高い金融商品、サービス、情報を提供できるように取り組んでまいります。

<取組内容>

- ・ お客さまのライフプランや投資経験、資産状況、知識、投資の目的等を十分に把握し、お客さまに最適な金融商品を提供できるよう努めております。
- ・ 資産運用を安定的に運用する「コア（守りの投資）」とリスクをとって高いリターンをめざす「サテライト（攻めの投資）」とに分け、バランスよく組合せながら、長期的な観点で資産を増やしていく「コア・サテライト運用」をご提案しております。
- ・ お客さまのライフイベント、投資目的に応じた資産形成のため、「長期・積立・分散投資」のご提案に努めてまいります。
- ・ お客さまに長期的に安心してお取引いただけるよう、定期的にアフターフォローを行い、お客さまの資産形成・資産運用のお役に立つ情報提供やアドバイスの高度化に努めております。

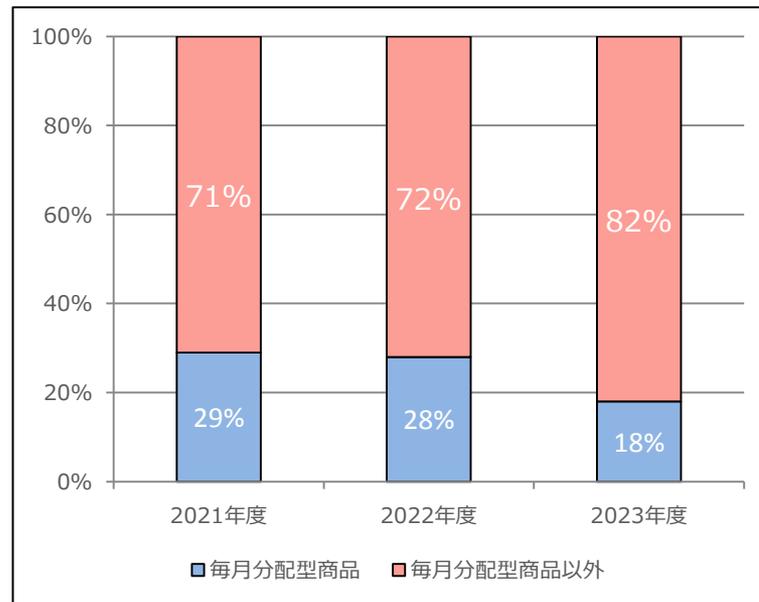
(1) 投資信託の販売額および残高の推移

NISAを活用した中長期の資産運用や積立投資の提案により、残高は増加しています



(2) 投信販売における毎月分配型商品と毎月分配型商品以外の販売額比率

NISA制度の改定及び複利を活かした効率的な運用提案により、毎月分配型商品以外の販売の割合が増えています

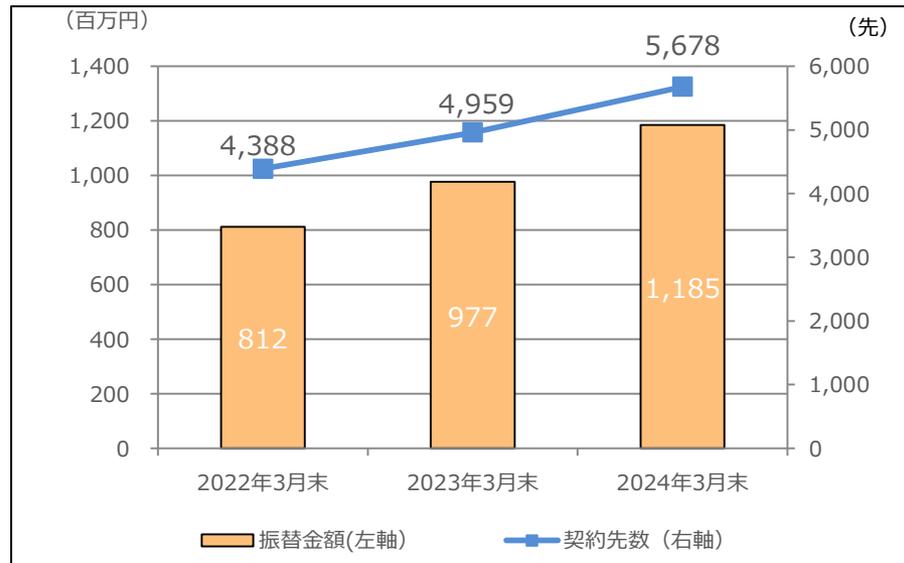


※投資信託残高は各年度末時点での時価評価額です

1. お客様の最善の利益の追求

(3) 積立投信契約者数・年間振替金額の推移

お客様へ長期・積立・分散投資による資産形成を推進しています。なお、主に税制優遇が受けられるNISAのつみたて投資枠を利用した積立投資をご提案しています。



(参考) 資産運用シミュレーション

お客様の資産形成の目的、目標金額をヒアリングし、将来のライフプランに応じたポートフォリオ、積立金額のご提案を行っております。



The screenshot shows the main menu of the asset simulation tool. It features three main steps: 1. 将来のイベント (Future Events), 2. 年数まででいくら (How much by year), and 3. リタイア生活 (Retirement Life). Below these, there are 16 event categories with icons: 結婚 (Wedding), マイホーム購入の頭金 (Down payment for home purchase), 子どもの中学・高校の学費 (Middle and high school tuition), 家のリフォーム (Home renovation), 夫婦で年に一度の海外旅行 (Annual overseas travel for couple), マイカー購入 (Car purchase), 出産 (Childbirth), 年に一度の家族旅行 (Annual family travel), 子どもの大学入学・学費 (University tuition), 退職後の生活費 (Post-retirement living expenses), 子どもの小学校学費 (Elementary school tuition), 急な出費 (Emergency expenses), 親の介護費用 (Elder care fees), 配属者の死亡(葬式費用) (Death of beneficiary (funeral expenses)).



The screenshot shows the calculation screen of the asset simulation tool. It includes the following information:

- STEP1 (選択済) 資産運用シミュレーション (STEP1 (Selected) Asset Management Simulation)
- STEP2 資産配分の確認 (STEP2 Confirmation of Asset Allocation)
- STEP3 ファンドを選ぶ (STEP3 Select Fund)
- STEP4 ポートフォリオの完成 (STEP4 Portfolio Completion)

運用期間、最初に投資できる金額、毎月の積立金額を入力して「資産成分の確認」ボタンを押してください。

積立期間: 20年後までに 2000 万円貯めたい

運用期間: 1年, 30年, 20 年

最初に投資できる金額 (投資元金): 0円, 2000万円, 300 万円

毎月の積立金額: 1.6万円, 7.1万円, 3 万円

積み立てしない (一括で投資する) 積み立て率: 7%, 5%, 3%, 0%

目標金額を達成させるためには 年4.9% で運用する必要があります。

<取組方針>

- お客様の利益を不当に害することがないよう取引を特定して分類し、対象取引の管理方法を明確化した上で、お客様の利益が不当に害されることが無いように適切な管理を行ってまいります。
- 「利益相反管理方針の概要」については、当行のホームページに (<https://www.chikugin.co.jp/about/riekisouhankanri/>) 概要を公表しております。

<取組内容>

- お客様の利益を不当に害することがないよう、お客様との利益が相反する可能性を正確に把握し、適切な管理を行っております。
- 乗換取引にかかるモニタリングを実施しています。
- お客様にご提供する商品・サービスの選定にあたり、不当に特定の商品提供会社に偏ることが無いよう、担当部署により検証を行っております。

4. 重要な情報の分かりやすい提供

<取組方針>

- お客さまに金融商品、サービス、情報を提供するにあたり、商品特性やリスク・リターン、経済環境や市場動向等について、適切で十分な情報を提供してまいります。
- 商品のご提案においては、お客さまの投資経験や財産状況、商品リスク度合い等を考慮して、分りやすく丁寧な説明を行ってまいります。また、複雑な金融商品またはリスクの高い金融商品の販売・推奨などを行う場合には、より丁寧な情報提供に努めてまいります。

<取組内容>

- お客さまに金融商品をご提案する際には、商品提案ツール等を活用し、商品特性やリスクの内容、手数料および市場動向等、投資判断に資する十分な情報提供に努めております。

お客さまへの情報提供では、パンフレットや目論見書等のほか、タブレット等を活用し、商品の特性、運用実績、リスクとリターンの関係、手数料等十分ご理解いただけるように丁寧な説明に努めております。

【商品比較】

【運用実績】

【リスク・リターン】

分類	バランス型	バランス型	バランス型
ファンド名	投資のソムリエ	のむらっぴファンド(普通型)	世界経済インデックスF
分散投資比率	33%	33%	33%
投資金額・比率を仮定	(100万円)	(100万円)	(100万円)
運用会社	アゼマOne	野村	三井住友TAM
基準価額 (2023/06/29)	10,611円	24,660円	32,054円
純資産 (2023/06/29)	489,763百万円	277,349百万円	209,399百万円
ファンド レーティング	**	***	***
トータルリターン 1年	-5.15%	3.22%	6.37%
トータルリターン 3年(仮定)	-3.63%	9.13%	10.79%
トータルリターン 5年(仮定)	-0.41%	5.83%	6.73%
トータルリターン 10年(仮定)	0.78%	5.77%	5.80%
リスクメジャー	1 (低い)	2 (やや低い)	3 (平均的)
シャープレシオ 1年	-0.97	0.34	0.71
シャープレシオ	-0.91	1.03	1.27

上記は過去の運用実績を元にした情報であり、将来の運用成果を予測あるいは保証するものではありません。
上記の低リスク投資向けエルドアドバイザーが独自に集計している数値です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。



4. 重要な情報の分かりやすい提供

【重要情報シートの導入】

重要な情報をお客さまにご理解いただくために、当行は2023年8月より「重要情報シート」の利用を開始して、簡潔かつ分かりやすい情報提供をおこなっております

投資信託版重要情報シート

01 商品等の内容(当社は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています)

金融商品の名称・種類	ストックインデックスファンド225
組成会社(運用会社名)	大和アセットマネジメント
販売会社	筑邦銀行
金融商品の目的・機能	日本の金融商品取引所上場株式のうち日経平均株価に採用された銘柄を主要投資対象とし、日本の株式市場の動きと長期的な成長をとらえることを目標に、日経平均トータルリターン・インデックスに連動する投資成果を目指す。同指数採用銘柄のうち200銘柄以上に、原則として等株数投資を行う。株式の組入比率は、高位を保つ。ファミリーファンド方式で運用。9月決算。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	中長期での資産形成を目的とし、元本割れリスクを許容する方。
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(クーリングオフ)の適用はありません。

Q. 商品購入後はどのようにして資産状況を確認できますか？
 A. 定期的にお送りする「取引残高報告書」にてご確認いただけます。また、お取引店にお問い合わせいただければご案内致します。詳しくは販売担当者にお尋ねください。
 Q. この商品は元本を保証する商品ですか？
 A. 投資信託全般の基準価額は変動があるため、投資元本を割り込むことがあります。

ストックインデックスファンド225

カテゴリー	ファンドレーティング(総合)	リスクメジャー
国内大型グロース	★★★	4(やや高い)

設定日: 1985年9月20日 / 償還日: 無期限 / 決算日: 原則9月19日

資産構成比

地域別構成比

評価日: 2024年5月31日

投資信託版重要情報シート

02-1 リスクと運用実績 (本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります)

損失が生ずるリスクの内容	・運用資産の市場価格の変動による影響を受けます。 ・投資先などの破綻や債務不履行による影響を受けます。
トータルリターン(1年)	26.23% / 同一カテゴリー平均 26.06%
トータルリターン(5年・年率)	14.94% / 同一カテゴリー平均 15.15%

※損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面、目録見書「投資リスク」に詳しく掲載されています。

Q. 損失が生じる場合のリスクについて詳しく教えてもらえますか？
 A. 販売担当者より説明を受けてください。
 Q. 同一カテゴリーと比較して収益率が低い場合、他のファンドを検討したほうがいいのではないかと？
 A. 販売担当者より説明を受けてください。

リスクと運用実績

これまでの値動き 2024年6月10日 基準価額: 17,599円 純資産総額: 126,103百万円

リスクリターン分布図(5年)

ファンド	リターン(5年・年率)	リスク(標準偏差)(5年・年率)	シャープレシオ(5年・年率)
● 当該ファンド	14.94%	16.72	0.89
① 国内株式型	14.20%	16.23	0.91
② 国際株式型	13.40%	19.71	0.73
③ 国内債券型	-1.84%	2.49	-0.66
④ 国際債券型	4.14%	10.47	0.41
⑤ 国内REIT型	2.95%	16.20	0.16
⑥ 国際REIT型	5.60%	21.11	0.26
⑦ ヘッジファンド型	2.63%	8.49	0.18
⑧ コモディティ型	13.71%	20.06	0.81

※ 大分類カテゴリーで表示(ブル・ベア型除く) ※ ● 当該資産 評価日: 2024年5月31日

5. お客さまにふさわしい情報の提供

<取組方針>

- お客さまの投資経験、財産状況、知識、投資の目的などをお伺いし、それぞれのお客さまに適した金融商品・サービスのご提案を行ってまいります。

<取組内容>

- 新たな金融商品・サービスを導入する際は、お客さまの属性を踏まえたうえで、商品性、リスクの程度、仕組みの複雑さがお客さまにとって許容できる適正なものであるか等検証を行い、商品ラインナップの整理、強化に努めております。
- ウエルスアドバイザー社による、取扱いファンドの定量・定性両面から運用状況等のモニタリングを実施いたします。

(1) 投資信託商品ラインナップ

種別	2022年3月末		2023年3月末		2024年3月末		
	商品数	構成比	商品数	構成比	商品数	構成比	
国内	債券	4	4.2%	3	3.5%	2	2.4%
	株式	12	12.7%	11	12.6%	9	11.0%
	REIT	1	1.1%	1	1.2%	2	2.4%
海外	債券	17	18.1%	15	17.2%	13	15.9%
	株式	45	47.9%	44	50.6%	43	52.4%
	REIT	3	3.2%	3	3.4%	4	4.9%
バランス	12	12.8%	10	11.5%	9	11.0%	
合計	94	100%	87	100%	82	100%	
うちつみたて投資枠対象	11		11		13		

(3) 生命保険ラインナップ

種別	2022年3月末		2023年3月末		2024年3月末		
	商品数	構成比	商品数	構成比	商品数	構成比	
一時払	円建	4	33.3%	4	33.3%	7	53.8%
	変額年金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		定額年金	0	0.0%	0	0.0%	2
	終身保険	4	33.3%	4	33.3%	5	38.4%
	外貨建	8	66.7%	8	66.7%	6	46.1%
	変額年金	2	16.7%	2	16.7%	0	0.0%
		定額年金	3	25.0%	3	25.0%	2
	終身保険	3	25.0%	3	25.0%	4	30.7%
	合計	12	100%	12	100%	13	100%
	平準払	学資保険	0	0.0%	0	0.0%	1
年金保険		3	30.0%	3	30.0%	2	15.3%
終身保険		3	30.0%	3	30.0%	4	30.7%
収入保障保険		1	10.0%	1	10.0%	1	7.6%
医療・がん・介護保険		3	30.0%	3	30.0%	5	38.4%
合計	10	100%	10	100%	13	100%	

(2) 投資信託ラインナップにおける毎月分配型商品以外の比率

種別	2022年3月末		2023年3月末		2024年3月末	
	商品数	構成比	商品数	構成比	商品数	構成比
毎月分配型商品以外	64	68.1%	60	69.0%	62	75.6%
毎月分配型商品	30	31.9%	27	31.0%	20	24.4%
合計	94	100%	87	100%	82	100%

5. お客さまにふさわしい情報の提供

<お客さまのライフプラン等を踏まえた金融商品やサービス、ポートフォリオの提案>

お客さまへの資産形成のご提案にあたっては、資産運用アドバイスツール「Wealth Advisor」を導入し、「ライフプランシミュレーション」や「ロボアドバイザー」等の機能を活用し、お客さまのライフプランにおいて想定される支出や資産ポートフォリオ等についてわかりやすく説明しております。

○資産運用アドバイスツール「Wealth Advisor」



<お客さまのニーズに沿ったアフターフォローの実施>

お客さまの預かり資産の状況（保有残高・評価損益等）や市場環境等をご説明し、ご不安の解消及び今後の運用方針等をご相談させていただくため、一定の基準を設けて実施しています。

商品	種類	実施内容
投資信託	定期的なアフターフォロー	お客さまの保有資産の状況やご年齢に応じて定期的にアフターフォローを実施しています。
	相場急変時のアフターフォロー	市場動向の急変や市場に重大なインパクトを与える事象が発生し、投資信託の基準価額に重大な影響を与えた場合などに実施しています。
生命保険	定期的なアフターフォロー	原則、ご契約後1年経過時以降、毎年契約月に実施しています。
	その他アフターフォロー	本部からの指示により特定の商品を保有されているお客さまを対象に実施しています。

5. お客さまにふさわしい情報の提供

- お客さまセミナーを定期的で開催し、最新のマーケット動向や個別商品の運用状況の報告、贈与、相続など、お客さまのお役に立つ情報の提供に努めております。
- 2023年度は、NISA制度改正に伴い、NISA制度の概要、非課税投資枠を活用した資産運用のセミナーを積極的に行いました。
- 今後も随時お客さま向けセミナーを開催予定であり、お客さまの資産形成等において有益な情報提供に努めてまいります。

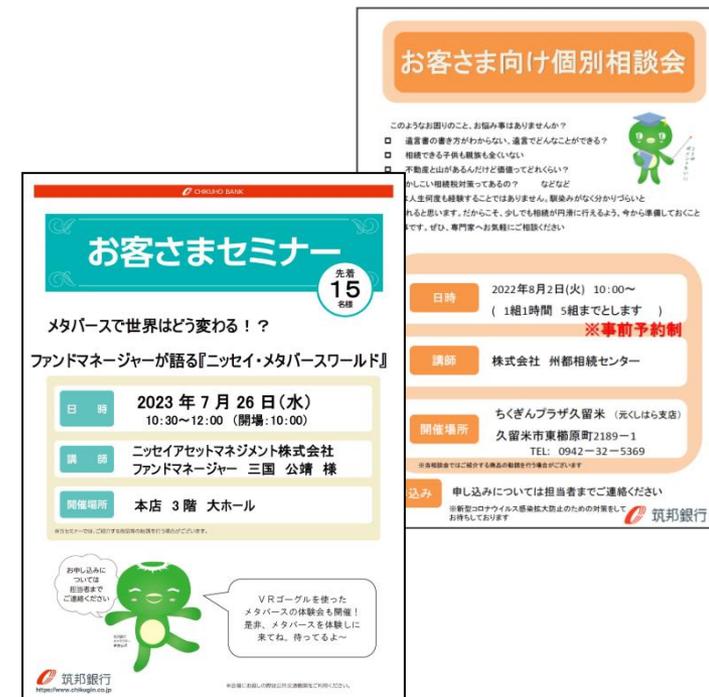
(4) お客さま向けセミナー・運用報告会実施回数

2021年度	2022年度	2023年度
0	6	19

<セミナーの主なテーマ>

項目	内容
資産運用セミナー	新NISAを活用しよう！ ～人生100年時代の資産運用入門～
職域セミナー	NISAを活用した資産運用について
マーケットセミナー	マーケット環境と期待値高まるインド市場の魅力について
学生向け金融セミナー	金融教育 (使う・ライフプラン、ためる、借りる、金融トラブル)
相続セミナー	相続に関する個別相談会

<お客さま向けセミナーのご案内チラシ>



お客さま向け個別相談会

このようなお困りのこと、お悩み事はありませんか？

- 遺言書の書き方がわからない、遺言でどんなことができるか？
- 相続できる子供も相続も金くない
- 不動産と山があるんだけど整理ってどれくらい？
- などなど

人生100年時代も相続することはありません。馴染みがなかりづらいつられると思います。だからこそ、少しでも相続が円滑に行えるよう、今から準備しておくことです。ぜひ、専門家へお気軽にご相談ください。

日時 2022年8月2日(火) 10:00～
(1組1時間 5組までとします) **※事前予約制**

講師 株式会社 州都相続センター

開催場所 ちくぎんプラザ久留米 (元ははら支店)
久留米市東柳原町2189-1
TEL: 0942-32-5369

申し込み 申し込みについては担当者までご連絡ください
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策をしてお待ちしております

お客さまセミナー 先着15名様

メタバースで世界はどう変わる！？

ファンドマネージャーが語る『ニッセイ・メタバースワールド』

日時 2023年7月26日(水)
10:30～12:00 (開場:10:00)

講師 ニッセイアセットマネジメント株式会社
ファンドマネージャー 三国 公靖 様

開催場所 本店 3階 大ホール

お申し込みについては
お電話まで
ご連絡ください

VRゴーグルを使った
メタバースの体験会も開催！
是非、メタバースを体験しに
来てね、待ってるよ～

筑邦銀行 <https://www.chikuhonbank.jp/>

6. 従業員に対する適切な動機付けの枠組み等

<取組方針>

- 当行は、お客さまに対してより高度な情報を提供できるよう、行員向け教育研修の実施や自己啓発の支援を行い、全行行員の知識向上に努めてまいります。

<取組内容>

- 金融のプロフェッショナルとしての幅広い金融知識による質の高いコンサルティング提案を実践するため、FP資格の取得を推奨しています。
- 多様化・高度化するお客さまニーズにお応えするため、各種研修・ロールプレイング等の実施を通じてコンサルティング力向上に向けた人材育成に努めています。

FP 1級・FP2級の資格取得者数

2021年度	2022年度	2023年度
214人	203人	214人

7. 共通KPI（投資信託）

（1）投資信託の運用損益別顧客比率



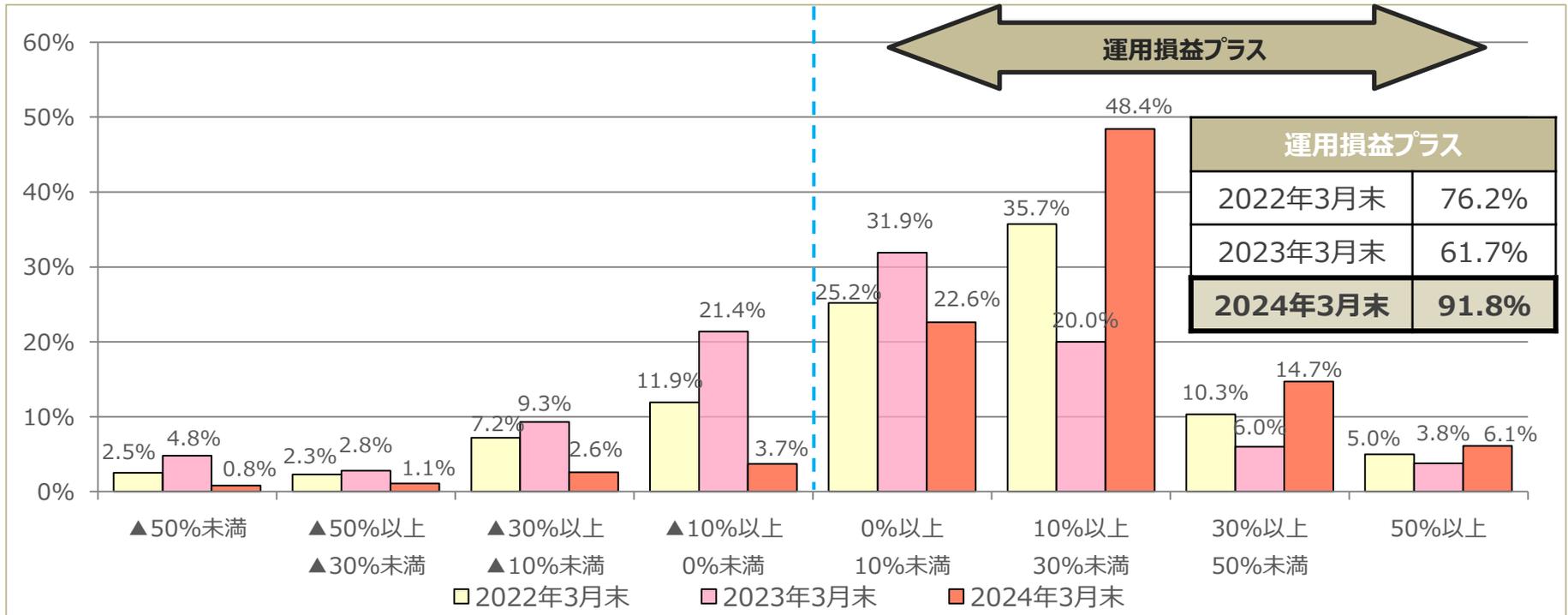
比較可能な共通KPIについて

金融庁から公表されているお客さま本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選定する上で比較可能な統一的な指標である3つの指標（以下、「共通KPI」）が公表されました。

（1）運用損益別顧客比率

投資信託を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有投資信託における購入時以降の累積の運用損益を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標です。

2024年3月末基準で運用損益がプラスになっているお客さまの比率は91.8%となりました。



- 2022年3月末、2023年3月末、2024年3月末時点で、当行で投資信託残高を保有している個人のお客さまの取引を対象
- 運用損益は[基準日時点の評価金額 + 累計受取分配金額（税引後） + 累計売付金額 - 累計買付金額] ÷ 基準日時点の時価評価額で計算
- 基準日時点までに全部売却・償還された銘柄は対象外
- 当該銘柄の購入当初まで遡及

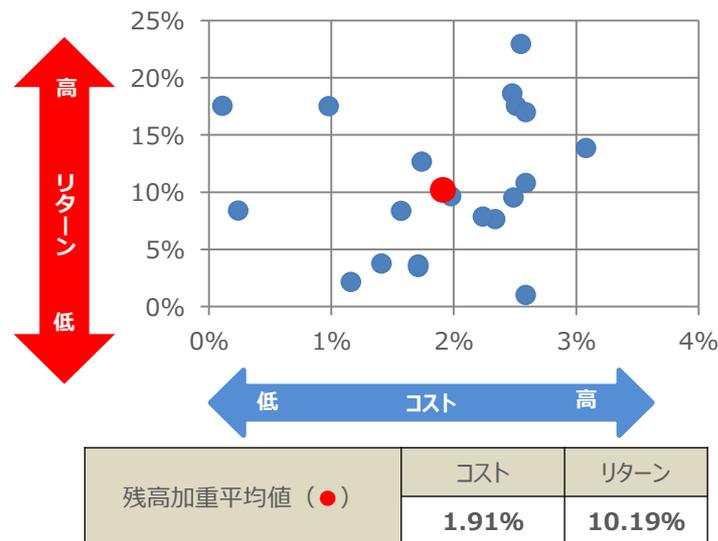
7. 共通KPI (投資信託) (2) 投資信託預り残高上位20銘柄の「コスト・リターン」「リスク・リターン」

2024年3月末時点における投資信託預り残高上位20銘柄の平均コストは1.91%、平均リスクは16.58%、平均リターンは10.19%となりました。

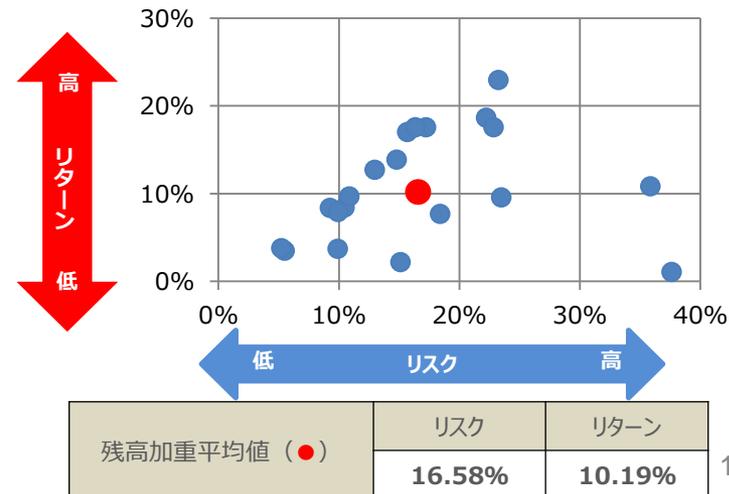
■ 投資信託預り残高上位20銘柄 (2024年3月末)

No	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	のむラップ・ファンド (普通型)	1.57%	9.29%	8.36%
2	新光US-REITオープン	2.34%	18.42%	7.66%
3	のむラップ・ファンド (積極型)	1.74%	12.98%	12.68%
4	グローバル・フィンテック株式ファンド (年2回決算型)	2.59%	35.87%	10.81%
5	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド (毎月決算型)	2.49%	23.50%	9.54%
6	SMTAMダウ・ジョーンズインデックスファンド	0.98%	17.24%	17.52%
7	ロボット・テクノロジー関連株ファンド-ロボテック-	2.48%	22.23%	18.63%
8	次世代通信関連 世界株戦略ファンド	2.51%	22.85%	17.55%
9	グローバル・ソブリン・オープン (毎月決算型)	1.71%	5.52%	3.47%
10	のむラップ・ファンド (保守型)	1.41%	5.25%	3.76%
11	野村6資産均等バランス	0.24%	10.48%	8.39%
12	ニッセイA I 関連株式ファンド (為替ヘッジなし)	2.55%	23.25%	22.94%
13	MHAM J-REIT インデックスファンド (毎月決算型)	1.16%	15.12%	2.16%
14	MHAM米国好配当株式ファンド (毎月決算型) 為替ヘッジなし	2.59%	15.70%	16.98%
15	MHAM豪ドル債券ファンド (毎月決算型)	1.71%	9.91%	3.68%
16	SBI全世界株式インデックス・ファンド	0.11%	16.36%	17.54%
17	みずほUSハイイールドオープンBコース (為替ヘッジなし)	1.98%	10.87%	9.65%
18	グローバルヘルスケア&バイオ・ファンド	3.08%	14.82%	13.85%
19	グローバル・フィンテック株式ファンド (為替ヘッジあり・年2回)	2.59%	37.63%	1.03%
20	野村インド債券ファンド (毎月分配型)	2.24%	9.94%	7.87%

■ 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン



■ 投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン



○当行で取扱いしている投資信託のうち、設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、銘柄ごとおよび預り残高加重平均のコストとリターン、リスクとリターンの関係を示した指標です。

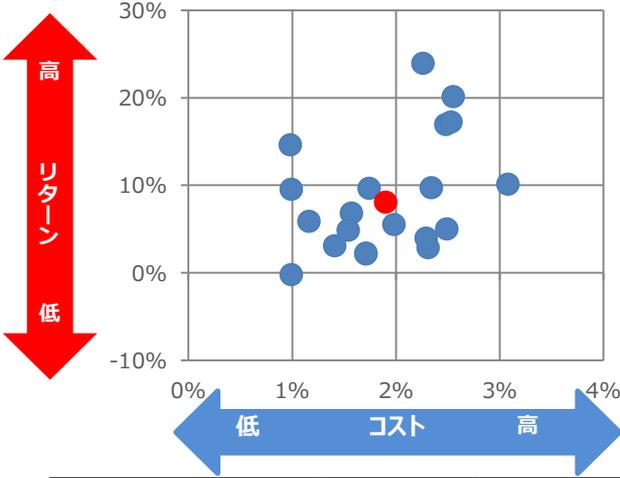
- コスト : 販売手数料率の1/5 + 信託報酬率
- リスク : 過去5年間の月次リターンの標準偏差 (年率換算)
- リターン: 過去5年間のトータルリターン (年率換算)

7. 共通KPI (投資信託)

投資信託預り残高上位20銘柄の
「コスト・リターン」「リスク・リターン」(過去3年分)

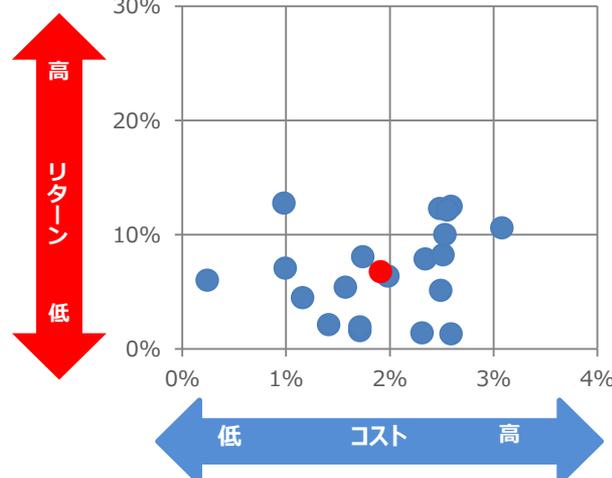


【2022年3月末時点】



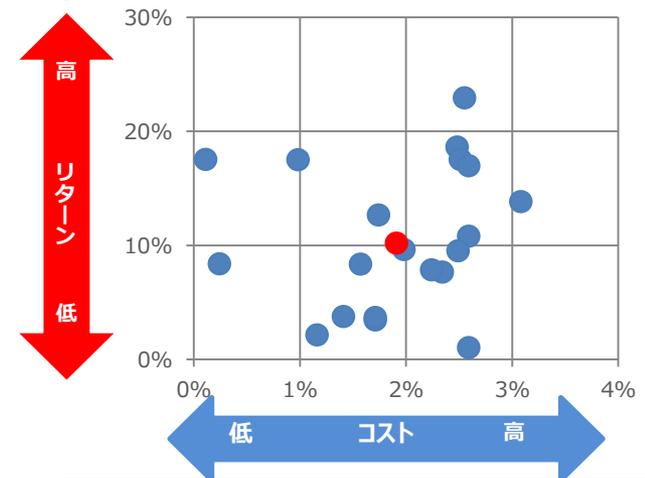
残高加重平均値 (●)	コスト	リターン
	1.90%	8.07%

【2023年3月末時点】

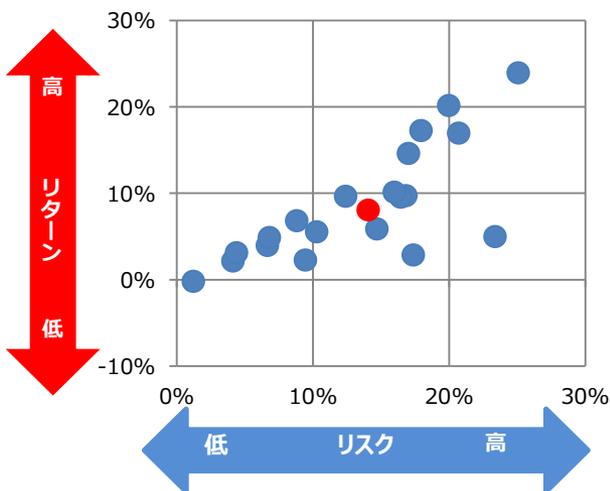


残高加重平均値 (●)	コスト	リターン
	1.91%	6.76%

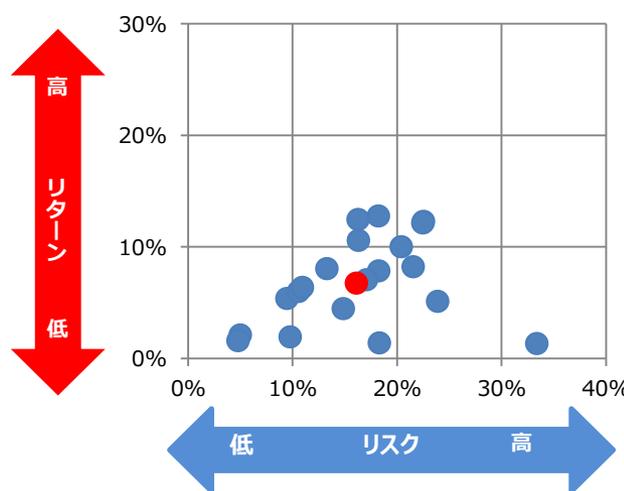
【2024年3月末時点】



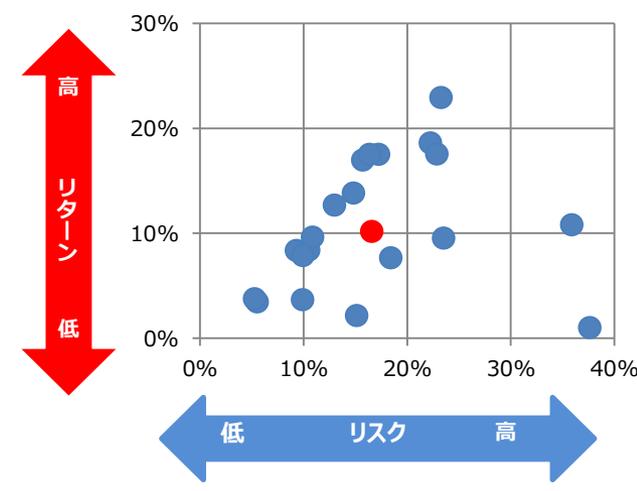
残高加重平均値 (●)	コスト	リターン
	1.91%	10.19%



残高加重平均値 (●)	リスク	リターン
	14.06%	8.07%



残高加重平均値 (●)	リスク	リターン
	16.10%	6.76%



残高加重平均値 (●)	リスク	リターン
	16.58%	10.19%

7. 共通KPI（外貨建保険）

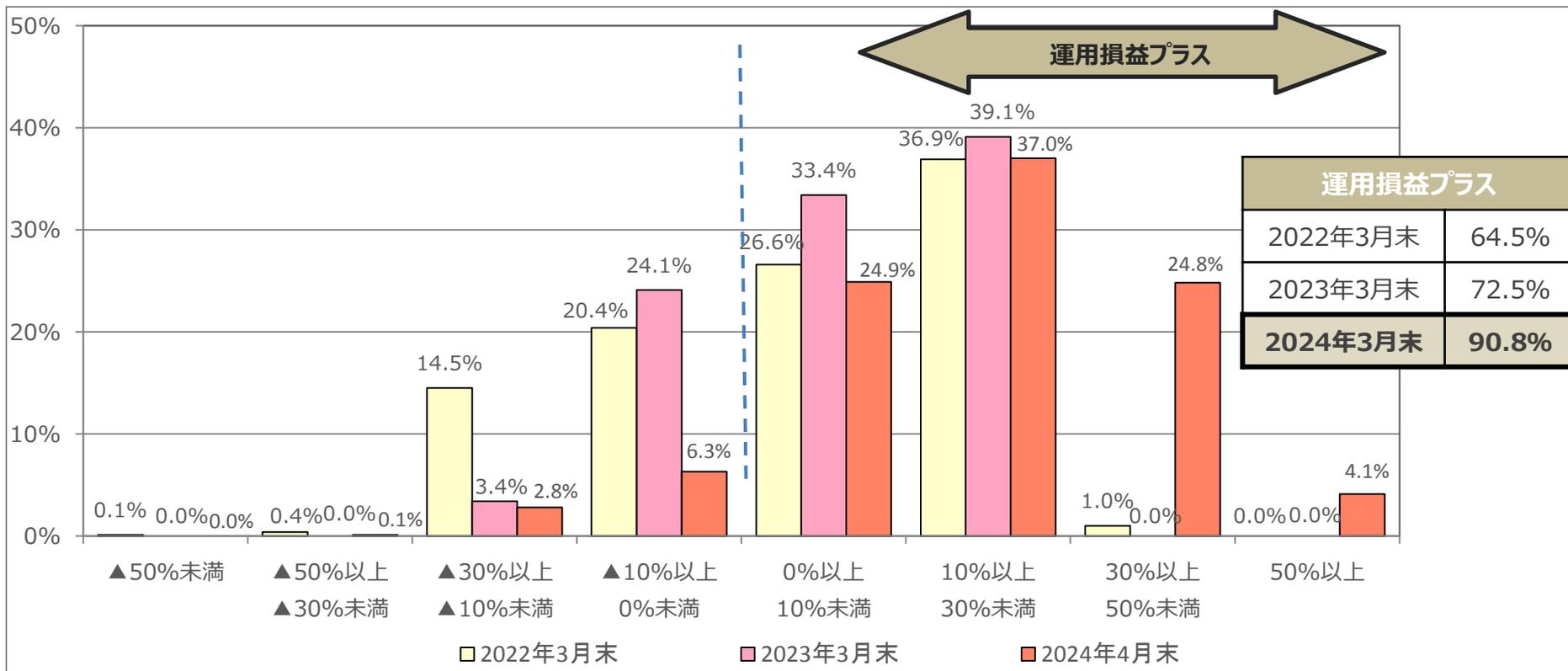
(3) 外貨建保険の運用損益別顧客比率



(3) 外貨建保険の運用損益別顧客比率

基準日に外貨建一時払保険を保有しているお客さまについて、運用評価（契約時以降のリターン）を算出し、全てのお客さまを100%とした場合の運用評価別のお客さま分布を示したものです。基準日時点で解約済みの契約、年金の支払いが開始している年金契約（据置期間の契約も含む）は除外しています。

2024年3月末時点で外貨建て保険を保有されているお客さまのうち、90.8%のお客さまの運用評価がプラスとなっています



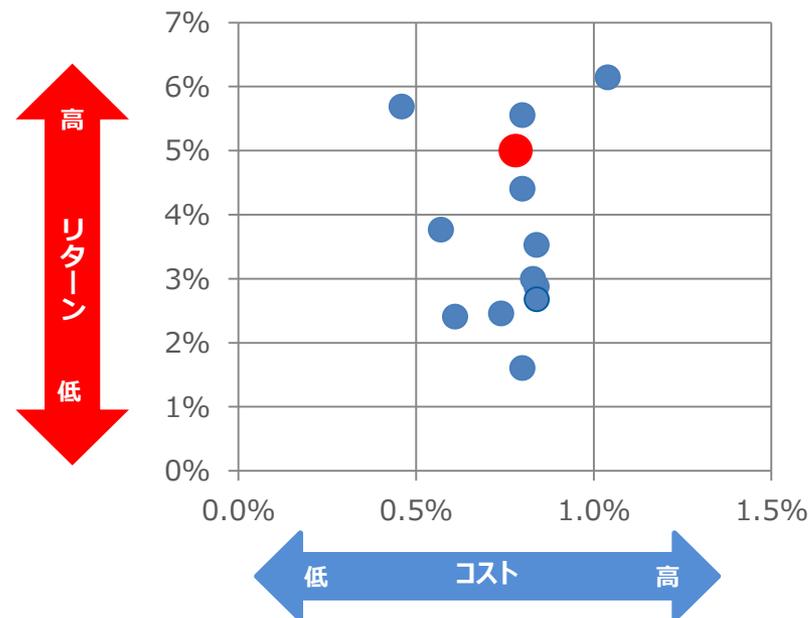
■ 運用評価率は、(基準日の解約返戻金額 + 基準日の既支払金額 - 契約時点の一時払保険料) ÷ 契約時点の一時払保険料 (いずれも円換算) で算出しております。
 ・外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は、長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります。
 ・解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

7. 共通KPI（外貨建保険）（4）外貨建保険預り残高上位20銘柄の「コスト・リターン」

2024年3月末時点における外貨建保険の銘柄別平均コストは0.78%、平均リターンは5.00%となりました。

（2024年3月末基準）

No	銘柄名	コスト	リターン
1	プレミアシーブ（外貨建）	0.80%	5.55%
2	ファイブ・ステップUS	0.46%	5.68%
3	ロングドリームGOLD 2	1.04%	6.14%
4	ロングドリームGOLD	0.84%	2.87%
5	プレミアプレゼント	0.80%	4.40%
6	プレミアベスト	0.83%	2.99%
7	プレミアジャンプ2・年金（外貨建）	0.84%	2.68%
8	プレミアジャンプ3・年金（外貨建）	0.80%	1.60%
9	ロングドリームプラス	0.57%	3.76%
10	プレミアストーリー 2	0.74%	2.45%
11	アドバンテージ・セレクトPG	0.61%	2.40%
12	プレミアカレンシー・プラス 2	0.84%	3.52%



残高加重平均値（●）	コスト	リターン
	0.78%	5.00%

- 当行が募集を行った外貨建一時保険のうち、基準日に5年以上経過している契約で基準日時点の解約返戻額+基準日時点の既支払額の合計額で上位銘柄のコストとリターン関係を示したものです。
- 基準日時点で解約済みの契約、年金の支払いが開始している年金契約（据置期間の契約も含む）は除外しています。
- 各銘柄のコストは、基準日に5年以上経過している契約について、各契約の新契約手数料率と継続手数料率（支払累計）の合計値を契約期間（経過月数）で年率換算したものを、各契約の一時払保険料で加重平均して算出しています。
- 各銘柄のリターンは、基準日に5年以上経過している契約について、各契約の契約時点の一時払保険料に対する基準日時点の解約返戻金額+基準日までの既支払金額の増加率を年率換算したものを各契約の一時払保険料で加重平均して算出しています。

7. 共通KPI (外貨建保険)

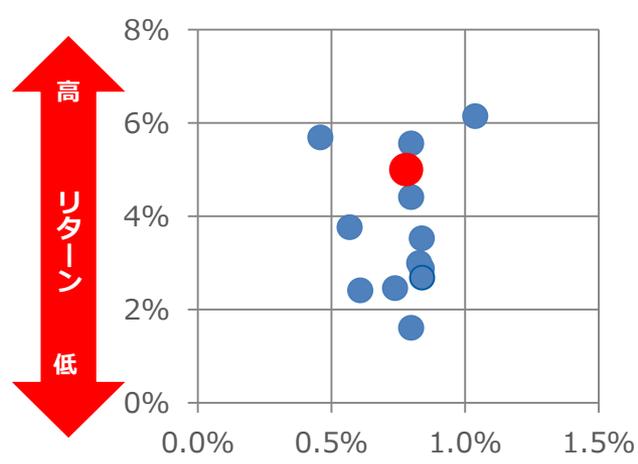
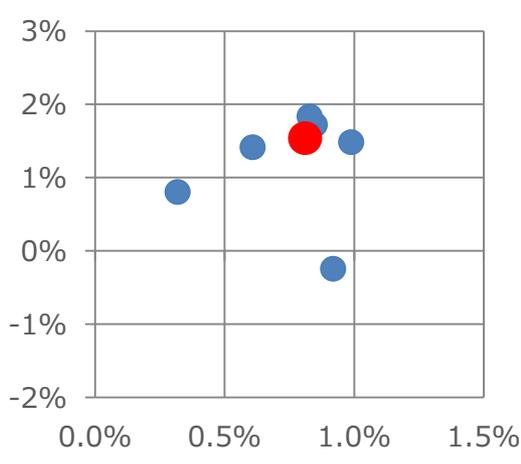
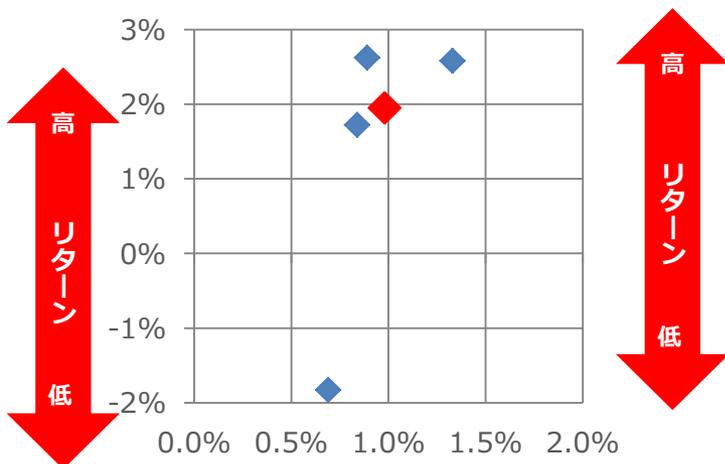
外貨建保険預り残高上位20銘柄の「コスト・リターン」



【2022年3月末時点】

【2023年3月末時点】

【2024年3月末時点】



残高加重平均値 (●)	コスト	リターン
	0.98%	1.95%

残高加重平均値 (●)	コスト	リターン
	0.81%	1.54%

残高加重平均値 (●)	コスト	リターン
	0.78%	5.00%